

## 呼吸器内科からのお知らせ

呼吸器内科 津村 真介



あれだけ厳しかった冬の寒さも、急激に暖かくなってまいりました。春の訪れは嬉しいものですが、変化が急すぎても心身ともについていけない部分が出てきてしまいます。


さて、熊本地域医療センター呼吸器内科は、2026年4月より常勤医2名+平日日勤のみの時短1名体制となります。2024年度までは常勤医4名体制でした。大学医局の人事であり、社会情勢も影響していると思われ、やむを得ない状況と受け止めております。

さらに私は藤井先生の後を継ぎ、感染対策チームも担当することになりました。このような体制の変化に伴い、これまでと同様の入院・外来診療を維持することは物理的に困難になることが見込まれます。患者さんのご紹介をお引き受けすることが難しい場合が生じる可能性もございます。

大変心苦しい申し出ではありますが、当科へ紹介していただく患者数につきまして、一定のご配慮をいただけますと幸いです。時間的余裕がありそうな患者さんはぜひ事前予約をご活用ください。患者さんへ提供する医療の質を維持するためにも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。診療体制の安定的な維持およびスタッフの負担を過剰としすぎないことも重要な課題であり、これらが損なわれた場合、診療体制のさらなる見直しが必要となる可能性もございます。

当科の強みは喘息・アレルギー診療、気管支鏡と考えております。それだけではなく肺炎、肺癌診療など、呼吸器診療全般にもこれまで同様に熱意をもって取り組んでまいります。当科が持てる力を最大限に発揮してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

事前予約はこちら（平日のみ 8:30～18:00）

 090-9472-1177

また、**診療情報提供書**は、下記へFAXしてください。（重要な内容やお急ぎの場合は、事前にお電話でご連絡ください）

平日 8:30～18:00  
[FAX] 096-363-3416

土日休日夜間  
[FAX] 096-362-0222

### 熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時/2026年**3月23日**(月) 19:00～20:00

形式/ハイブリッド方式 オンライン参加 or 会場参加  
オンライン参加: ZOOM 会場参加: 新館6階ホール

#### 申込方法

kumamotochiiki@gmail.com (※1) まで  
メールにて「所属医療機関名」および「氏名」  
を記載し、お送りください。（後日、詳細な  
参加方法についてご案内いたします。）

(※1)メール作成用QRコード



#### ①症例報告

外科 中島 凌 医師  
『術前診断に苦慮した肝内胆管腺腫の一例』

#### ②特別講演

糖尿病代謝内科 狩場 佑一 医師  
『近年の糖尿病治療について』  
CC: 76 糖尿病

# 熊本地域医療

当院HPは  
こちらから



# センターだより

院長 杉田裕樹

令和8年(2026年)3月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222  
〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号 <https://krmc.city.kumamoto.med.or.jp>

2026 3 月号 通算250号

### 熊本地域医療センター 理念

かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。  
そんな病院をめざし、地域社会に貢献します。



### TOPICS

## 診療部紹介

## 緩和ケア科 がんの total care を

呼吸器内科からのお知らせ……………4

### 熊本地域医療センター

TEL. 096-363-3311  
FAX. 096-362-0222

検査予約・連携室 . 096-366-1323

外来予約 . 090-9472-1177

医師専用電話相談 . 090-2964-0600

# 診療部紹介

# 緩和ケア科 がんの total care を



緩和ケア科部長  
地域医療連携室長

安部英治

熊本地域医療センターは、患者さんやご家族にとって「**診断・治療・治療終了後・終末期までひとつの病院で一貫して診てもらえる**」という大きなメリットがある病院です。

緩和ケア病棟	専従医師1名	看護師13名	薬剤師	管理栄養士	言語聴覚士	公認心理師	医療社会福祉士	看護助手
緩和ケアチーム	緩和ケア科1名	認定看護師2名	薬剤師	管理栄養士	言語聴覚士	公認心理師	医療社会福祉士	

## まずはご相談を ~ 転ばぬ先の杖 ~

がんを患った患者さんを先生方が外来で診ているときに

- ・そのうちに家で生活できなくなりそう
- ・在宅看取り・24時間対応ができる訪問診療につなげたい
- ・麻薬の使い方が難しい
- ・待たなしで入院が必要

こんなときにご相談ください。

「前もって」早めにご相談いただくと、患者さん・ご家族ともにそれから安心して家で過ごせるようになります。もちろんなかなか「前もって」ご家族が動いてくれないことも多いので、それぞれのご家族のペースに合わせてご相談ください。

## ご希望があれば早期から ~ 切れ目のない支援 ~

緩和ケアというと終末期という印象があります。もちろん終末期の方も緩和ケアの大切な患者さんです。

さらに、当院では患者さんの希望や担当医の依頼があれば

- ・紹介初診時
- ・がんの治療中
- ・BSC 方針決定後の外来フォロー中

と緩和ケア科が切れ目なくがん治療の継続を支えています。

当院では、がん患者さんに **total care** を提供しています。

### Chain of palliative care



## 相談窓口 ~ 入院申込から緩和ケアって?という質問まで ~

☎096-366-1323

月～金 午前8時30分～午後5時00分  
緩和ケアの相談は医師が最初から直接電話対応しています。

- ・連携室の相談員
- ・一般の方（匿名の方もおられます）
- ・ケアマネジャーや施設の職員
- ・先生方

迅速な対応をするために

- ・相談のための決まった書類は不要です
- ・伝えたいことや相談したいことを話していただきます
- ・そのうえでこちらからいくつか質問しています

先生方も緩和ケア病棟の申込も含めてぜひご利用ください。多くの病院の連携室には好意的にご利用いただいています。診療情報提供書は受診までにいただくようにしています。

[ 連携室からの相談例 ]

- ・入院中の患者さんの緩和ケア病棟への転院を
- ・治療終了になったので今後の外来のフォローを
- ・在宅での看取りの方針だがもしものときの入院先を相談したい

[ 一般の方からの相談例 ]

- ・母が「あとは緩和ケア」と言われましたが、どういう意味？
- ・入院中とてもきつそうなんですけどどうしたらいいですか？
- ・関東在住ですが熊本の緩和ケア病棟の実情を教えてください
- ・どうやったら受診や入院ができますか？
- ・費用はどのくらいですか？ 面会はできますか？
- ・泊まり込んで付き添いはどうですか？
- ・祖父が透析ができなくなりそうでいまとてもきつそうです

多くの方が匿名でご相談されています。かかりつけの患者さんやご家族にもぜひお勧めください。

## 緩和ケアチーム ~ コンサルテーションに徹して ~

直接患者さんやご家族に関わることありますが、患者さん・ご家族は、新しいスタッフがどんどん出てくると不安になったり戸惑ったりすることが多いため、どちらかという「主治医や看護師の困りごとの相談に乗る」というコンサルテーションに徹しています。つまりあまりで過ぎず「あくまでも患者さん・ご家族・主治医のペース」に合わせて「患者さん/ご家族と主治医との良好な感性の維持」に重点を置いています。

これも Chain of palliative care ~切れ目のない支援~ にはとても大切なことだと考えています。「症状が緩和すればいい」、というわけではなく、「希望するがんの治療ができるだけ継続できる」ことを目標に置いています。

## リノベーション ~ 結構、雰囲気が変わりました ~

開設して20余年が過ぎました。病院施設も開設当時とトレンドが変わってきています。緩和ケア病棟師長・事務次長・業者の方々・さらには院長先生にもたびたびご相談しながら、こだわりをもって照明や床材を変えた結果、雰囲気が変わりました。

少しでも過ごしやすい環境を提供したい、という一心です。



## さいごに

緩和ケア = 疼痛コントロール と頭に浮かぶと思いますが、それは緩和ケアの一面にしかすぎません。「元気になるたい」「もう少し生きていたい」という患者さん・ご家族の切実な期待に応えられなくなった状況において、医師として何ができるのかを常に考え続けることが緩和ケアだと思います。

患者さんご家族にとって

- ・納得のいくプロセスであること
  - ・さいごまで自分たちが大切にされていると感じられること
- そう思っていただけのように日々当院で働いています。

当院の患者さんはがんの **total care** を受けることができます。当院の内科・外科への患者さんのご紹介を今後ともよろしくお願い致します。